

宇都宮市立横川中学校第2学年生徒質問紙調査

★傾向

○良好なもの ●課題が見られるもの

○「自分で計画を立てて勉強している」が全国平均より5ポイント以上高く、「家で、学校の授業の予習をしている」全国平均より20ポイント以上高い。「家で、学校の授業の復習している」も全国平均より10ポイント以上高い。このことから、生徒は授業と家庭学習が結びつき、効果的な学習をしているものと思われる。

●平日の学習時間が1時間未満の生徒が、33.8%。また、土日の学習時間が2時間未満の生徒が61.1%である。家庭学習の内容の充実や時間の確保などの指導を継続して行いたい。

○「学校のきまりやマナーを守っている」の肯定的回答が87.3%と高い。また、「近所の人に会ったときは、あいさつをしている」の肯定的回答が91.7%と高い。生徒の規範意識が高いことを示しているが、交通安全指導を含め実践できるような指導を継続していく。

○「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」の肯定的回答が48.4%と全国平均よりも6ポイント以上下回っている。ボランティア委員会の活動を多くの生徒が参加できるよう呼びかけ等工夫していきたい。

●「クラスの友だちとの間で話し合う活動をよく行っている」が全国平均より14ポイント以上下回り、「自分の考えを発表する機会が与えられている」が全国平均より7ポイント以上下回っている。また、「クラスは発言しやすい」も全国平均より8ポイント下回っているため、今後各教科、道徳、学活等において話し合いの活動を適宜取り入れ、言語活動の充実を目指した授業を展開していきたい。また、話し合いによりお互いを認め合い、自尊感情をはぐくむような指導を目指したい。